## 令和２年度厚生労働省働き方改革推進支援助成金事業：ヘルスケア認定寝具TM委員会議事録

作成者：事務局　中村 富夫

<table>
<tr><td>実施日</td><td>令和 2 年 11 月 11 日（木）　13：30～16：00</td></tr>
<tr><td>実施場所</td><td>一般社団法人 日本寝具寝装品協会　会議室</td></tr>
<tr><td>出席者<br>計８名<br><br>（・委員　6 名<br>・オブザーバー<br>2 名）<br><br>（敬称略）</td><td>委員：（7 名）
<table>
<tr><th>出欠</th><th>氏名</th><th>会社名・役職</th></tr>
<tr><td>○</td><td>伊藤　　洋</td><td>東京慈恵会医科大学葛飾医療センタ精神神経科診療医長</td></tr>
<tr><td>○</td><td>橋本 修左</td><td>武蔵野大学名誉教授、橋本生理人類研究所　所長</td></tr>
<tr><td>○</td><td>九合 浩明</td><td>一般財団法人ボーケン品質評価機構東京試験センタ-課長</td></tr>
<tr><td>○</td><td>伊藤 広成</td><td>一般社団法人日本福祉用具供給協会　事務局次長</td></tr>
<tr><td>×</td><td>上条 百里奈</td><td>（株）スタジオ ギフト ハンズ　　介護福祉士</td></tr>
<tr><td>○</td><td>奥谷 孝良</td><td>一般社団法人日本寝具寝装品協会　　専務理事</td></tr>
<tr><td>○</td><td>中村　富夫</td><td>一般社団法人日本寝具寝装品協会　　事務局</td></tr>
</table>
オブザーバー：（2 名）<br>
（株）繊維情報システムセンター　　金谷範之<br>
一般社団法人日本寝具寝装品協会　池田　勉</td></tr>
<tr><td>検討項目</td><td>① ヘルスケア認定寝具の評価目安についての概要説明<br>② ヘルスケア認定寝具の審査（3 社 3 品目 10 品番）の　認定可否<br>③ ヘルスケア情報提供システム構築と仲介者・消費者への内容検討</td></tr>
<tr><td>配布資料</td><td>・ＨＣ資料 2－1：ヘルスケア認定寝具の評価目安<br>・ＨＣ資料 2－2：ヘルスケア認定寝具の審査用エビデンス資料</td></tr>
</table>

■議事録

【奥谷専務挨拶】

ヘルスケア認定寝具制度は、本年 2 月度に業界関係者や介護業界関係者等に説明会準備したが、コロナ禍で集合形式の対面型説明会は開催できず、そのため“10 月 6 日ＺｏｏＭ等を使ったオンラインでの説明会”が認定委員の皆様にご協力頂いて、参加者 120 名開催実施できました。

本日の委員会では、「ヘルスケア認定寝具 TM 制度規程で認定可否」を審議して頂き、仲介の介護事業者や一般消費者に向けてのヘルスケア認定寝具として情報提供していくものである。

1. ヘルスケア認定寝具の評価目安についての説明

事務局中村より本日の認定審査に当たり「ＨＣ資料：2-1」資料を基に、評価に関するポイント等について以下の説明を行った。

① 合否を決める要素として、「睡眠健康機能」が 60 点、抗菌・防ダニ等の「衛生機能」が 15 点、「メンテナンス機能」が 15 点、必須項目の「企業の社会性」が 10 点という基準を設けた。

② 「睡眠健康機能」を証明する各種研究機関や検査機関、大学等での試験データや、自社での調査データ等を提出する規程となっている。

⇒　そのエビデンスの評価を本委員会でする為、11 月 6 日に事前資料をお届けしました。

③ 機能の細かなチェックも大切ですが、製品が有する全体的な機能効果や、使用者が感じると思われる観点から総合的に評価して頂きたい

2.　ヘルスケア認定寝具の審査（10 品番）

上記、説明を基に 3 社から提出されたヘルスケア候補製品３品目１０品番について審査を行った。なお、本日の 10 品番以外にも 2 社程から審査問合せがあったが、書類での問題点や不備があったものは要望等をお願いして、次回審査申請との説明をした。

【配布した「ＨＣ資料：2-2」について】

事務局中村より、本日の「ヘルスケア認定寝具の認定審査品目」は 3 社 10 品番（西川㈱：7 件、龍宮㈱：1 件、河田フェザー㈱：2 件）であるが、西川㈱については以下の資料を説明した。

・「&Free　整圧マットレス」に関してレギュラータイプ、ハードタイプ、スーパーハードタイプの 3 種が提出されたが、4 層特殊立体構造は同一仕立ての為、エビデンス資料はレギュラー仕様が主である。（＊寝返り性判定のマットレスの硬さは 3 タイプ試験含め構造等の詳細データあり）

・「&Free　ＳＡマットレス」に関してレギュラータイプ、ハードタイプの 2 種が提出されたが、エビデンス資料はレギュラータイプ仕様が主である。　（＊生地が消臭加工の試験データあり）

・「&Free　ＳＧマットレス」に関してレギュラータイプ、ハードタイプの 2 種が提出されたが、エビデンス資料はハードタイプ仕様が主である。（＊上記同理由）

【西川㈱から申請があった 7 品目に関する認定審査】

事務局中村より申請された敷マット寝具について、その概要を「ＨＣ資料：2-2」、提出されたエビデンス資料、及び　製品サンプルを基に説明を行った。説明したポイントは以下のとおり。

① 西川㈱からは、敷きマットレスのヘルスケア認定寝具 7 品番の申請がなされた。いずれの製品にも使用されているマットレスは、特殊加工のウレタンでできており、縦・横に 66 本のスリットと上下に 63 個の通気孔を設けた 4 層特殊立体構造になっている。（サンプル製品を見せ説明）

② マットレスの構造は縦に 4 層になっており、表面に接触する体の部位に基づいて粗密の凸凹になっており、ボディラインにフィットするようになっている。凸凹の大きさは 3 種あり、一定の幅の中に凸が 2 個、3 個、4 個形成されている。これにより「体全体を点で支える構造」になっており体圧を分散させ、横向き寝や寝返りのしやすさを持たせている。

| | |
|---|---|
| | |
| 特殊立体構造のウレタンマット。上にあるのは体圧測定シート。 | 特殊立体構造のウレタンマットの説明風景。 |

・「&Free　整圧マットレス」、「&Free　ＳＡマットレス」、「&Free　ＳＧマットレス」は、いずれも体圧分散性、横向き寝や寝返りのしやすさ、血流促進効果、等の機能を持つ商品で、機能を検証した試験・実験データは、西川㈱の研究所実験データのほかに、ブリヂストンケミテックス、同志社大学の米井教授、カケンテストセンター等からの詳しいデータがそろっている。
・西川㈱は永禄 9 年（1566 年）創業の国内最大手の寝具寝装品製造・卸売事業者である。近年は睡眠科学の面から、多くの新製品開発がなされておりＳＤＧｓへの取り組みも熱心である。そのため企業の社会性も会社案内の通りで問題はない。
今回申請された製品はエビデンスもそろっており、認可することに特に支障はないと考えられる。

■（委員の意見）
・この製品での各種ホルモン測定値まで、エビデンス提出するのは経費負担もあり大変な事と思う。また、糖尿病の改善等まで触れるデータ抽出もしかりである。寝具性能試験の為にここまでのエビデンスデータには驚いているが、PSQI ピッツバーグ睡眠質問票とか OSA 睡眠票等の主観データでの補完で十分証明になりうると思う。今後のエビデンス評価では、主観データが相応の治験数であれば充分評価基準を満たすと思われ、またわかりやすいものと思う。
⇒「西川と大学の共同研究なので客観的なエビデンスが必要なのでは？」という声があった。
① 同志社大の寝姿勢測定結果は、製品機能を説明するのに非常にわかりやすい。
② ブリヂストンケミテックスのデータを見ると、「褥瘡予防効果」をうたえるのではないか？
⇒体圧分散効果から「褥瘡予防」をＰＲできるが介護法ではベッド一体型での認可となる。
⇒厚労省の介護法と経産省の経済効果策等の役所間意識はあるものと思う。「褥瘡予防」は敷マット一枚でもその有効性は充分と考えられると思われるので、今後具申検討していく。
③ 寝返りは、健常者と介護対象者では異なるのでは？
⇒寝返り性の実証は JIS 試験がなく、それぞれ各社のデータ取り方が違うのが現実である。
④ 今回の敷ウレタンマットは、3 つ折り収納が可能で　洗い、耐久性や復元性が優れている。
⑤ 消臭加工 TO375 生地検査に関し 10 回洗濯後アンモニア減少率推移や試験法等の質問あり。

**＊西川㈱は TO375 消臭検査を繊技協／検知管法＆ガスクロマトグリフ法式でボーケン品質評価機構で再度実施し 11 月 17 日付合格データを提出した。添付資料を査収され複製配布厳禁の手元資料として下さい。**
⇒その他、意見・質問があったが、協議の結果、西川㈱より申請された製品はいずれもヘルスケア認定寝具として認定された。

【龍宮㈱から申請があった 1 品目に関する認定審査】
事務局中村より龍宮㈱から申請された寝具について、その概要を「ＨＣ資料：2-2」及び提出されたエビデンスを基に説明を行った。（説明ポイントは以下のとおり）

龍宮㈱は「脱脂綿製品」に特化した企業で、天然繊維を使用したものづくりに特徴がある。本社・工場は福岡県うきは市にあり 1947 年創業、年商 5.3 億円、従業員 40 名の中堅企業で、経産省ものづくり日本大賞九州産業局長賞等を受賞され、寝具業界での評価も高い。

① 今回認定申請された製品「パシーマ Ｊカラー キルケット」は、丸洗い可能で洗濯性・乾燥性に優れ、OEKO-TEX 認証もあるアレルゲン低減機能を保有している。

② 天然繊維である木綿を精製して、製造過程では柔軟剤、蛍光増白剤等は一切使用していない。特に中綿は一般綿より保温性に優れ、軽く蒸れない。これらのことは、東邦大、奈良女子大学、東北福祉大学、ニッセンケン、カケンテストセンター、福岡工業技術センター等からのエビデンス・データが示すとおりである。

→上記説明後、以下の意見が出された。

■（委員の意見）

① パシーマに添付された各大学でのエビデンス・データは実態証明へのわかりやすい適切なものがそろっている。それに一生懸命ものづくりに励んでいる企業の姿勢が感じられる。このようなところも応援したい。

② ＪＢＡヘルスケア認定寝具の認定申請に添付するエビデンス・データは、論文的なものではないので、的を絞った証明内容で構わないことを次回申請する企業にも伝えてほしい。

③ 福岡工業技術センターの試験方法は少し特殊な感じがするが……大きな問題ではない。

④ 全体的に、承認を否定する材料はないのではないか。

⇒協議の結果、申請された製品はヘルスケア認定寝具として認定された。

【河田フェザー㈱から申請があった 2 品目に関する認定審査】

事務局中村より申請された寝具について、その概要を「ＨＣ資料：2-2」及び提出されたエビデンスを基に説明を行った。（説明ポイントは以下のとおり。）

① 河田フェザー㈱は、明治 24 年（1891 年）創業の日本最大級の羽毛工場で、アパレル、寝具用途羽毛原料、ふとん縫製加工、リフォーム、羽根装飾製品等を主業務としている。

② 申請の「ナノクリスタル ホワイトダック 90%羽毛掛けふとん」は血流増進効果、保温性。「抗菌防臭ホワイトダック 90%羽毛掛けふとん」は、保温性等を機能表示している。

③ 羽毛ふとんにはもともと保温性に優れているのが特徴であるが、申請商品は羽毛原毛にナノクリスタル加工を施したものである。ナノクリスタル加工は、植物や造礁サンゴなどを溶解した特殊水を使って羽毛の表面にメゾ構造結晶体を生成させたもので、遠赤外線を発生させるとの説明書きがある。その為血流促進効果のある製品になるとの遠赤外線応用研究会試験報告が提出された。

④ 縫製加工段階では、キルティングの升目が立体的に重なり合うようにした「トライアングルキルト加工」を温度の保持性要素として施している。

⑤ 抗菌性については、ユニチカガーメテックの試験報告書がつけられている。

⇒以上の説明のあと、以下の意見が出された。

■（委員の意見）

① ナノクリスタル加工羽毛による血流増進については、提出されたエビデンス資料で血流増進は判別可能である。遠赤外線測定データがないので要因性としてはよくわからない。

② 「トライアングルキルト加工」による機能効果は、想定される仕立て技法である。

③ 企業の社会性の観点からは、全く問題なし。

⇒協議の結果、申請された製品はヘルスケア認定寝具として認定された。

3. ヘルスケア情報の仲介者・一般消費者へ提供内容の検討

フリートークで感想や意見が出されたが、主な意見は次のようなものであった。

① ヘルスケア認定寝具 TM　の社会、業界への認知活動が一番肝要である。健康寝具のエビデンスを含めた　見える化　策が健全なる需要創出と、真の睡眠健康啓発活動に繋がるので SNS 等を活用しての浸透策等を検討してほしい。

② 今後掲載予定であるＪＢＡのホームページ　ヘルスケア認定寝具検索一覧　を見て、こんな機能を持つ商品があるのか、薦めてみたい、使ってみたいと思わせるような商品情報提供システムに構築していくことが必要な要素となる。

③ 今回の事例で言えば、西川㈱「4 層特殊立体構造のウレタンマット」、龍宮㈱「脱脂綿の特性機能」、河田フェザー㈱「トライアングルキルト加工」「ナノクリスタル加工」といった機能特性を理解してもらうには、詳しい説明をしないとわかってもらえないと思われる。そのためのカタログ、製品写真、ホームページ掲載箇所等の細かい情報提供が重要になる。

⇒その他多くの感想、意見が出されたが、仲介者・一般消費者へ提供するヘルスケア情報の内容については引き続き、次回の委員会で継続検討することとする。

委員会協議風景

次回、「ヘルスケア認定寝具 TM 委員会」は令和 3 年 3 月開催を予定しているが、申請応募数がまとまり次第、随時開催していきますので、ご協力をお願いした。　以上